

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名		中学校図書館ボランティア					所管	教育委員会 指導課	
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)			事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標] [小 柱] [施 策]							
	根拠法令等	その他		[法令等名]	要綱等なし			[終了予定]	- 年度
	事業対象	区内中学校							
	事業目的	指導員を配置し、生徒へのレファレンスや読み聞かせを行うことで、生徒の読書意欲や学習意欲を向上させる。また、指導員となる保護者や地域住民に学校の教育を理解してもらい、開かれた学校を具現化する。							
	事業内容	学校図書館にボランティア指導員を配置し、図書整理、掲示等の環境整備、生徒へのレファレンスサービス、貸出業務、読み聞かせ等を行うことにより、活気あふれる図書館とする。							
	委託の有無	なし		委託内容					
	補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称		(単位)	目標値 (31年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	ボランティア指導員登録数		(人)	42	29	28	30	
	成果指標	活動日数(延べ)		(日)	200	145	140	150	
	決算額 (単位:千円)					472	332	446	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				85	80	89	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				473	332	446	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				0	0	0	
		総経費				558	412	535	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0	
一般財源(区負担額)				558	412	535			
前回評価から改善した事項	なし								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	生徒の読書意欲や学習意欲向上のため、必要である。						
	効率性	3	指導員のボランティア保険加入と謝礼品に係る最低限の経費である。						
	手段の適切性	3	学校図書館の資料が整理され、生徒に利用されやすい環境作りが推進されている。						
	目的達成度	3	指導員ボランティアの活動により地域住民に開かれた学校となっている。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
読書環境の充実及び生徒の読書意欲や学習意欲の向上と豊かな心の育成、並びに開かれた学校づくりを進めるために今後も実施していく。							維持		